

プラスワンメールマガジン！ 創刊号 H21.8.17

皆さんこんにちは、今回新たに男女参画・県民協働課と佐賀県社会福祉協議会とが協働して『プラスワン運動』の推進を図るためにプラスワン活動に関心がある方を対象に、メールマガジンを配信することとしました。

この「プラスワン運動」とは、既にご存知の方も多いとは思いますが、仕事や家庭の～運動です。

そして、このメールマガジンはプラスワン運動を実践されている県民の方やCSO、支援組織などのコメントによるプラスワンコラムや体験記、募集情報などプラスワン運動をする上で必要な情報が満載です！

みなさまお気軽にどうぞご利用ください！また、活動に関心のある知人、友人等への受信PRもよろしくお願いいたします。

それでは、記念すべき創刊号の目次です。。。

創刊号	【1】プラスワンコラム！
	【2】プラスワンの心得！
もくじ	【3】プラスワン体験記！
	【4】プラスワン活動拠点のご紹介！
	【5】月刊@プラスワン募集ニュース！

【1】プラスワンコラム！ ～プラスワン運動に携わる思い～

『子どもたちの笑顔に癒されて』

江北町子ども体験教室 代表 橋本 聖子

私自身のつらい体験から、土曜日も勤めを休めない、あるいは農作業等で子どもたちともふれあえない、そんなお母さんたちが安心して働けるまちづくりに私の力を活かしたいと「子ども体験教室」を開設したのが、今から6年前です。

「江北町子ども体験教室」は、地域の子どもは地域で育てる」を合言葉にして、三つの目標を掲げて活動しています。

一つ目は、「子どもの命の安全安心」、二つ目は、「文化の継承と創造につながる体験活動をとおして心豊かな人間性を育む」、三つ目は「異年齢交流をとおして、人間としてのつながり方を身につける」ということです。

指導者は、まったくの無償ボランティアの地域のおばちゃん・おじちゃんたちで、声かけすると、無償にもかかわらず快く協力してもらっています。

おかげさまで現在、カルタ・お茶・お花・クッキング・音楽・絵画と国際交流・陶芸・ソフトテニス・お話隊・子ども3B体操・絵手紙・民舞教室の12の教室を開設していますが、今では、90人の子どもたちが登録し、毎月延べ人数150人が活動しています。

子どもたちは、学校ではないという解放感で、のびのび活動し、指導者もまるごと認める雰囲気です。

そのため、子ども体験教室では、いつも子どもたちの笑顔が絶えることはありません。

私は、何よりその笑顔に癒(いや)され、また元気の素にもなっています。

この夏休みは、12教室の合同企画で環境保全にかかわる活動として、他の団体の協力を得ながら、EM菌入りのどろだんご作りに挑戦し、河川浄化につながる活動や、環境保全啓発活動としての絵画制作などを行っているところです。

私は、これからも地域のCSO団体と協働しながら、地域でできる活動を大事にしていきたいと思っています。

そして、子どもたちが大きくなったとき、ふるさとをなつかしく思い起こしてくれればと願っています。

【2】プラスワンの心得 ~ 県社協からのワンポイントレッスン ~

その壱 「ボランティア活動」と聞いて、何を想像されますか？

皆さんは「ボランティア活動」と聞いて、何を連想されますか？

清掃活動、古切手集め、募金活動などがまず頭に浮かぶのではないのでしょうか。これは、過去に経験された活動がこうした活動だったこともあるのと、なかなか自身の日常生活の中に「ボランティア」が身近に存在しないことも一つの要因としてあるでしょう。

しかし現在では、災害時の生活支援ボランティア、まちおこしを企画するボランティアなど、以前のボランティアのイメージより、身近な生活課題に様変わりしているのも現状です。

ボランティア活動について、一度生活場面の中で情報収集してみるのも楽しいかも知れませんね。（by 野添）

【3】プラスワン体験記 ～できることから始めてみませんか？～
傾聴ボランティア佐賀・かたらい 会長 市丸俊文

「何か自分たちでできるボランティア活動があったら」と願う人たちが、佐賀市社協主催の研修にてカウンセリングの基本である傾聴について学び、学んだその技術（スキル）を活かしながら、悩みや寂しさを抱える人たちの話し相手や相談相手をするために集まったのが、私たち「傾聴ボランティア佐賀・かたらい」（平成19年3月設立）です。

佐賀市近郊の老人福祉施設（7か所）へ、月2回の訪問活動を行い、入所者の方々の話し相手となって活動に励んでいます。現在会員数は70名を超え、組織として発展の一途ではありますが、今年度、佐賀県地域福祉振興基金の助成金を受け、会員のスキルアップのための研修を実施する予定としており、会員一同日々「聴く技術の向上」に余念がありません。傾聴はただ話を聞くだけではなく、その方の心に寄り添い、心を込めて話を聴くことです。そのことを、常日頃から実践し「聴くことでできる社会貢献活動」を続けていきたいと思っています。

県内各地で少しずつ傾聴ボランティアの活動が芽生えてきていますので、今後は、この活動をもっと多くの人に知って、そして参加してもらい、たくさんの方たちの心に寄り添える活動者が増えるように願っています。各地で行われる講習会等を見聞きされたら、ぜひ一度参加してみてください。

【4】プラスワン活動拠点のご紹介！～発見！あなたの街の活動拠点～
佐賀市民活動プラザへようこそ!! 吉村プラザ長

みなさまこんにちは、佐賀市民活動プラザの吉村と申します。

私たちは年間約10万人の佐賀市民が市民活動の場として訪れる市民活動プラザを佐賀市からの指定管理を受けて運営しております。

佐賀市民の皆様をはじめ市民活動をされている方、またはこれから始めてみようと考えていらっしゃる皆様方のお役にたてるように年末年始以外はフル稼働で頑張っております！

みなさまのご来場を「佐賀市民活動プラザへようこそ!!」という気持ちで心よりお待ちしております。

以下が、市民活動のみなさまを応援するための、当プラザ自慢の拠点機能です！

市民活動プラザは JR 佐賀駅南口から徒歩 3 分。アイスクエアビルの 3、4、5 階にあります。70 台分の無料の駐車場も完備です。

ここには打合せ用テーブル、会議室、印刷機、コピー機、裁断機、紙折り機など市民活動のためのあらゆる設備が整っています。

又、市民活動団体さん用にレターケース 240 ケース、大中小のロッカー、活動ブース 6 ブースも貸し出しています。事務所代わりにぜひご利用ください。

パソコンコーナーには 8 台のパソコンが設置され貸し出しています。点字用のパソコンも 2 台用意しています。無線 LAN の環境がありますので、自分用パソコンの持ち込みも OK です。もちろんインターネットにも接続しています。

会議室は 12 人収容の小会議室が 5 室、24 人収容の中会議室が 1 室、50 人収容の大会議室が 1 室あります。小会議室を二つつないで 24 人収容でも使えます。3ヶ月前から予約が可能です。会議室で使用するマイクやプロジェクター、スクリーン、テレビ、ビデオデッキは無料でお貸ししています。

あなたの団体のチラシ、ポスターなどもお持ちいただければ、館内に掲示すると共にブログにもアップしてひろく広報しています。

市民活動プラザは上記のほかに、助成金、ボランティアなどの情報提供や、市民学習講座、各種交流会など様々のソフト事業を展開しています。

また、みずから市民活動を実践するスタッフが親切にみなさまの悩みによりそってお手伝いをいたします。

佐賀市民活動プラザをぜひご活用ください！

【5】月刊@プラスワン募集ニュース！

旬の情報をお届けします！！まずは、気軽に覗いてみませんか？

ゆめくれよん パソコン教室（鍋島「ゆめくれよん」ブログコース）

日時：8月22・29日（土）10:00～15:00（募集期限：活動日の前日まで）

場所：佐賀市鍋島 / 内容：チャレンジドのIT指導補助

チャレンジドとのスポーツ交流（ボウリング）

日時：8月22日（土）13:15～（募集期限：8月20日）

場所：佐賀市八戸溝 / 内容：チャレンジドとの交流

森を楽しむ隊 第4回活動「種から育てる森づくりパート2」

日時：9月26日（土）10:00～15:00（募集期限：8月31日）

場所：神崎市脊振町 / 内容：背振山一帯で苗木に育てるための色々な種探し

ユニセフ支援活動

日時：毎週 月・火・木 10:00～15:00（募集期限：活動日の二日前まで）

場所：佐賀市水ヶ江 / 内容：使用済み切手・インクカートリッジ等の整理

家づくり塾&農のある暮らしのデザイン塾（ボランティアスタッフ）

日時：毎週土曜日 8:30～17:00（募集期限：随時）

場所：武雄市若木町 / 内容：体験活動のお手伝い

他にも多数ございます！

お問い合わせは男女参画・県民協働課（0952-25-7374）CSO活動支援担当係へ

【あしがき&つぶやき】～編集担当からのつぶやき～

今月7日、神崎市脊振町にて災害ボランティア活動を実施しました。当日は30度を超える暑さの中、男女合わせて総勢21名は大量の土砂と格闘し、更には70mの坂道を一輪車でざっと300往復した結果、一日がかりで家屋に押し寄せた土砂のすべてを撤去しました。

「被災者の声にならない声を拾い、支援をする」、佐賀県民災害ボランティアセンターは、今後も災害時の生活を支援する活動を続けていきます。

活動の詳細はホームページに掲載しています。

http://www.sagaken-shakyo.or.jp/saigai_vol/sai_vo_top.htm

本メルマガは当課が名刺交換等をさせて頂いた全ての方々に配信させていただきます。

転載・転送大歓迎！本メールマガジンがご不要な方はお手数ですが、ご連絡をお願いいたします。

... ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

注) プラスワン運動とは：

仕事や家庭のほかにもうひとつ社会的役割を持ちましょう！と佐賀県が進めている、いわゆるボランティア推進のための運動です。

注) CSOとは：

Civil Society Organizations (市民社会組織) の略で、NPO法人、市民活動・ボランティア団体 (以上志縁組織) に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTA (以上地縁組織) といった組織・団体も含めて、「CSO」と呼称しています。

... ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

発行責任者

佐賀県男女参画・県民協働課 課長 稲富 正人

(TEL: 0952 - 25 - 7374)

編集担当

佐賀県男女参画・県民協働課

CSO活動支援担当主幹 江頭隆幸

CSO活動支援担当 山田健一郎

danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp

TEL: 0952 - 25 - 7374

社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会

まちづくり課 野添 大介

(TEL: 0952 - 23 - 2145)